

# 彫刻

応募点数	20点	招待作品	4点
入賞点数	6点	展示点数	24点
入選点数	14点	◎は移動展出品作品	

(総評) 本年は出品数が24点で、ほぼ例年並みでした。小品が多く、作風は穏やかなものが多いように感じました。

家族愛の表現、自然界の萌芽や形の面白さに魅せられての表現、ユーモアのある民謡風な世界の表現、自己の生き方の表現等バラエティに富んでいます。また、学生さんの出品もあり将来が楽しみでもあります。

審査の結果、今回、最高賞である知事賞については該当作を見出せませんでした。金、銀、銅の各賞につきましては審査評をご一読いただき、鑑賞の参考にいただけたらと思います。

(文責 山岡 弘旭)

金賞 ◎移

<sup>おも</sup>思いふくらみ

<sup>たち</sup>立 <sup>ばな</sup>花 <sup>わたる</sup>航 (江津市)

彫刻用粘土で作った原型を石膏で型取りし、再度粘土を練りこみながら型に詰め込んで作られた作品です。テラコッタにこだわり、その素材と焼成の変化の面白さを追求し続けてこられたことを強く感じます。植物の持つ生命力をテーマに、今後とも形の追及をされることを期待しています。

(文責 山岡 弘旭)

銀賞 ◎移

Mother

<sup>お</sup>尾 <sup>ぞえ</sup>添 <sup>のぼる</sup>昇 (出雲市)

木漏れ日の中に発見した木の実の発芽に大いなる元気をもたらした感動が忘れられず、未来を志向する形態に表現しようとの意思が感じられ、勇気をもって大胆に造形されており、リズム感にも富んだ労作となりました。

(文責 山岡 弘旭)

銀賞 ◎移

<sup>はっ</sup><sup>が</sup>発芽

<sup>あ</sup>吾 <sup>ごう</sup>郷 <sup>かおる</sup>薫 (大田市)

永きにわたり母子像をテーマに親子愛を追求されています。見る角度によって、動静と強弱を同時に感じることでできる不思議な作品です。作者は母親が子供を守る姿の表現に納得のいくものを感じます。次回の作品も母性愛をテーマにした抽象形態で展開されるのが楽しみです。

(文責 山岡 弘旭)

銅賞 ④ 移 <sup>はる</sup>遥か <sup>まつ たに しん きち</sup>松谷伸吉 (出雲市)

ふくよかでのどかさを感じさせる作風です。体幹部のボリューム感は豊かさをたたえて安定感があります。頭部の小ささが、体全体に雄大さを与えています。

顔の表情は遥か彼方をにこやかに望んでいるようで、のびやかな作風となっています。  
(文責 山岡 弘迪)

銅賞 ④ 移 <sup>はる</sup>春が来た。 <sup>ごう だ まさる</sup>郷田勝 (江津市)

硬い樺(けやき)材を自身の感覚で、一彫り一彫りと丹念に制作を進めた親子亀です。細かなしわの作り込みに至るまで根気がうかがえます。長寿を願った物語を感じる労作からは、楽しみながら作ったことが伝わってくるように生きる喜びを感じさせてくれます。  
(文責 山岡 弘迪)

銅賞 ④ 移 <sup>ざっそう</sup>雑草 <sup>さ とう のぶ みつ</sup>佐藤信光 (安来市)

一心に草の根を引く姿にその人生を重ね合わせ、地面と人体を一体化させた造形によって力強く表現されています。作品の表面に無数に開けてある小さな穴の風合いからは、大地に向き合い格闘するかのような意思が感じられます。(文責 山岡 弘迪)

入 選

題 名	氏 名	備 考
ピーマン	伊原晴花(雲南市)	高校生出品 文化芸術次世代育成支援事業
夏の人	山本千陽(奥出雲町)	高校生出品 文化芸術次世代育成支援事業
カボチャ	竹内乃保(松江市)	高校生出品 文化芸術次世代育成支援事業
猛虎	原 増 男(出雲市)	
小さきもの	田部温子(松江市)	
ショートヘア	大畑 敬(松江市)	
④ 河童の祈り	佐々木 孝(浜田市)	
自然の恵	山岡優心(松江市)	
④ 時を待つ	立花 航(江津市)	
④ 見つめ愛	佐々木 柳子(江津市)	
愛情たっぷり	南波隆之(松江市)	
ただいま露出度100%	南波隆之(松江市)	
あの夏に思いを寄せて	丸山穂野花(松江市)	
市松大根	佐藤信光(安来市)	

## 招待

	題名	氏名	備考
⑩	ボク	山岡弘 勉 (出雲市)	
⑩	飛跡	松本健 志 (出雲市)	
⑩	あうん	田中俊 晞 (江津市)	
⑩	陽だまり	近田裕 喜 (安来市)	